



校長 佐々木 希久子

3年生の皆さん ご卒業おめでとうございます。

3月19日午前9時半より、卒業式を挙行政します。

今年度の卒業生は112名です。A組、B組、C組、E組と一緒に3年間学んできました。個性豊かなメンバーの揃った3年生です。

天真爛漫で明るい素敵な生徒、素直で人に優しい素敵な生徒がたくさんいます。時には素直になれず、教員につっかかってしまったり、うまく話し合いができずに解決が長引いてしまったりということもありました。保護者から苦言を呈されることも何度かありました。反省することしきりです。それでも、粘り強く、生徒とコミュニケーションをとろうとする姿勢を崩さない教員たちの声掛けて、心を開いて、自分の困っていることや、やりたいこと、してほしいことなどを、多くの生徒が伝えてくれました。やはり素直な生徒が多かったのだと改めて感じます。



そんな卒業生の皆さんともお別れがやってきます。別れは、わたしたち教職員と生徒との間で、卒業生と在校生の間で、そして、卒業生の生徒と生徒の間にもあります。これからは、卒業生一人一人が自らの進路に向かって、一人で歩いていきます。

卒業生の皆さんには、ぜひ、港南中で共に学んだ仲間たちのことをずっと大切にしていだければありがたいです。3月11日に同窓会の入会式を行いました。これから一人一人異なる環境で生きていく皆さんですが、いつかどこかで港南中の同窓生として出会ったときには、直ぐに旧交を温められるようなそんな素敵な別れをしてほしいと思います。

3年生の皆さん、積極的に、気概をもって生きて、新しいステージで新しい友人をたくさんつくってほしいと思います。どうぞいつまでもお元気で。皆さんのますますのご多幸とご発展を心よりお祈り申し上げます。

来年度に向けて

令和7年度は4月7日（月）に始業式を行います。4月からの学校生活も基本的な生活習慣をしっかりと守り、健康に留意して、他者に親切にしながら落ち着いて学校生活を過ごしていただきたいと考えています。

学校生活で最も大切なことは他者を思い遣る心です。これが最も根幹なことだと考えています。他者を思い遣る心を各自しっかりと磨いていくことが、集団生活の向上につながり、学習意欲の向上につながっていきます。自分の気持ちや欲求を優先する行動は慎む。とても大切なことです。自分のわがままな行動の裏には、迷惑を受けていたり、悲しんだりしている人が必ずいます。繰り返しますが、学校生活で最も大切なことは他者を思い遣る心、困っている人を助ける行動力です。他者を思い遣る心、それを、自己を律する行動、即ち自律につながっていただきたいと考えます。

一人ひとり異なる考えや個性をもった人々が縁あって港南中学校に集っています。どの生徒にもかけがえのない人生があります。どの生徒も笑顔で学校生活を過ごせるよう、「通わせてよかった」と、保護者に笑顔で思っていただけのような、地域の方々から「あってよかった」学校だと笑顔で仰っていただけるような、そんな学校を目指し、引き続き教職員一同しっかりと取り組んでまいります。



どうぞ、来年度もよろしくお祈り申し上げます。